

第50回 日本フィル 夏休みコンサート 2024



【料金】全席指定・消費税込
4/24 販売!
S席 子供 3,400円 / 大人 5,600円
A席 子供 2,700円 / 大人 4,600円
B席 子供 2,000円 / 大人 3,600円

※ 子供 = 4歳~高校生
※ 4歳未満は入場できません。
チケットはお一人一枚ご用意ください。
★演奏時間は休憩を含めて約1時間50分です。

～プログラム～

第1部

- ♪信長貴富: 50周年オリジナルファンファーレ
- ♪アンダーソン: 舞踏会の美女
- ♪エルガー: 愛のあいさつ
- ♪ホルスト: 《惑星》より木星 (夏休みコンサート版)

第2部

- バレエ (7/19~31) ——
- ♪チャイコフスキー: バレエ《くるみ割り人形》 (夏休みコンサート2024版)
- わくわくピアノ (8/2~6) ——
- ♪バッハ: メヌエット
- ♪ショパン: 幻想即興曲
- ♪ドビュッシー: 《ゴリウォーグのケーキウォーク》 [子供の領分]より
- ♪ガーシュウィン: ラブソディ・イン・ブルー

第3部

- ♪さんぽ ♪ふるさと ♪勇気100%

第2部 バレエ



指揮: 梅田俊明 / お話とうた: 江原陽子
バレエ: スターダンサーズ・バレエ団 / バレエ演出・振付: 鈴木稔

7月19日 金	14:00	相模女子大学グリーンホール
7月20日 土	13:00 & 17:00	東京芸術劇場
7月21日 日	13:00 & 16:30	サントリーホール
7月25日 木	14:00	松戸・森のホール 21
7月27日 土	13:00 & 16:30	ソニックシティ (大宮)
7月28日 日	13:00 & 16:30	横浜みなとみらいホール
7月30日 火	14:00	ウェスタ川越大ホール
7月31日 水	14:00	江戸川区総合文化センター

♪特設ページ♪



第2部 ピアノ



指揮: 永峰大輔 / お話とうた: 江原陽子 / ピアノ: 上原彩子

8月 2日 金	13:00 & 16:30	サントリーホール
8月 3日 土	13:00 & 16:30	横浜みなとみらいホール
8月 6日 火	13:00 & 17:00	東京芸術劇場



人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA
—— 創立指揮者 渡邊 暁雄 ——

日本フィルハーモニー交響楽団
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

第395回

横浜定期演奏会

395th YOKOHAMA Subscription Concert

2024年 3月 30日(土) 午後5時開演

横浜みなとみらいホール

5:00pm March 30th(Sat.), 2024, at Yokohama Minato Mirai Hall



主催: 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後援: 神奈川新聞社、TBS

協力: 横浜みなとみらいホール

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会



【お申し込み】日本フィル・サービスセンター

☎ 03-5378-5911 (平日 10時~17時)

eチケット♪ <https://eticket.japanphil.or.jp>



日本フィル横浜定期演奏会50周年
〈横浜カルチュラル・ワンダーランド〉

横浜アンサンブル・ワンダーランド Vol.2

～日本フィル・クラリネットセクションによる室内楽～

日本フィル「最高の男4人」が魅せるクラリネット・アンサンブル
JPO Quatre Homme plus

昨年大好評だった日本フィルの室内楽シリーズ第2弾。
今回は日本フィルの木管セクションを支えるクラリネット4名による
スペシャルユニット JPO Quatre Homme plus が横浜初公演！
後半にはトークショーでメンバーの魅力も掘り下げます！

2024年6月27日(木) 18:30開演 (18:00開場)

横浜みなとみらいホール 小ホール

好評
発売中!

JPO Quatre Homme plus [クラリネット四重奏]

伊藤寛隆(首席奏者) 楠木 慶(副首席奏者) 照沼夢輝 堂面宏起

第一部 クラリネット四重奏コンサート(約60分)

グランドマン:クラリネットのためのカプリス

ヘンリー:バードウォッチング

ラヴェル(杉本哲也編曲):クーランの墓

チャイコフスキー(杉本哲也編曲):幻想序曲《ロメオとジュリエット》

第二部 ライブトークショー(約30分)

ここでしか聞けないスペシャルトークをたっぷりお届け!

■料金(税込/全席指定)

一般: ¥3,000 会員: ¥2,500* U18シート: ¥1,000

*日本フィル各種会員、みなとみらいウェブフレンズ

管弦楽との〈饗〉演 — 神尾真由子の雅なモーツァルト、コバケンの音伽藍

前半は神尾真由子をソリストに迎え、モーツァルトの快活かつ典雅なヴァイオリン協奏曲をお楽しみいただきます。神尾の卓越した技術から生み出される繊細かつエネルギッシュなサウンドが、ホール全体に幸せなひと時を導いてくれることでしょう。後半はマエストロ小林にしかなし得ない壮大な音宇宙が皆様を待っています。パイプオルガンとオーケストラの豪華な共演を存分にご体感ください。

Programs

モーツァルト:

ヴァイオリン協奏曲第5番《トルコ風》イ長調 K.219 (約29分)

Wolfgang Amadeus MOZART:

Concerto for Violin and Orchestra No.5 in A-major, K.219

———— 休憩(20分) Intermission ————

サン＝サーンス:

交響曲第3番《オルガン付き》ハ短調 op.78 (約38分)

Camille SAINT-SAËNS: Symphony No.3 in C-minor, op.78

指揮: 小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]

Conductor: KOBAYASHI Ken-ichiro, Honorary Conductor Laureate

ヴァイオリン: 神尾真由子

Violin: KAMIO Mayuko

※当初の予定から
出演者が変更に
なりました。

オルガン: 石丸由佳

Organ: ISHIMARU Yuka

コンサートマスター: 扇谷泰朋 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ: 門脇大樹 [日本フィル・ソロ・チェロ]

Solo Violoncello: KADOWAKI Hiroki, JPO Solo Violoncello



指揮：小林研一郎

[桂冠名誉指揮者]

東京藝術大学作曲科及び指揮科を卒業。第1回ブダペスト国際指揮者コンクールでの鮮烈な優勝を飾ったことを皮切りに世界的に活動の場を拡げ、現在も第一線で活躍を続けている。音楽に対する真摯な姿勢と情熱的な指揮ぶりは「炎のコバケン」の愛称で親しまれ、名実共に日本を代表する指揮者である。

これまでの海外ではハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、ネーデルランド・フィルハーモニー管弦楽団(25年間、常任客演指揮者を務める)、アーネム・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管弦楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、ハンガリー放送交響楽団等、国内ではNHK交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団等、名立たるオーケストラと共演を重ね、数多くのポジションを歴任。2002年プラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング「わが祖国」を指揮して万雷の拍手を浴びた。この長年にわたる文化を通じた国際交流や社会貢献によって、ハンガリー政府よりハンガリー国大十字功労勲章(同国で最高位)等、国内では旭日中綬章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞等を受賞。

作曲家としても数多くの作品を書き、1999年に日本・オランダ交流400年記念の委嘱作品、管弦楽曲『パッサカリア』を作曲、ネーデルランド・フィルハーモニー管弦楽団によって初演されると、聴衆から熱狂的な喝采を以て迎えられた。同作品はそれ以降もアシュケナーズ指揮 NHK交響楽団、小林研一郎指揮日本フィルハーモニー交響楽団等で再演されている。2005年、社会貢献を目的としたオーケストラ「コバケンとその仲間たちオーケストラ」を設立、以来全国にて活動を続けている。

CD、DVDはオクタヴィア・レコードより多数リリース。著書に『指揮者のひとりごと』(日本図書協会選定図書)等がある。

現在、日本フィルハーモニー交響楽団桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団・名古屋フィルハーモニー交響楽団・群馬交響楽団桂冠指揮者、読売日本交響楽団特別客演指揮者、九州交響楽団名誉客演指揮者、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授、ロームミュージックファンデーション評議員等を務める。

この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムをご用意しております。ご要望の方は主催受付までお申し出ください。

© Makoto Kamiya



ヴァイオリン：神尾真由子

4歳よりヴァイオリンをはじめ。2007年に第13回チャイコフスキー国際コンクールで優勝し、世界中の注目を浴びた。ニューヨーク・タイムズ紙でも「聴く者を魅了する若手演奏家」「輝くばかりの才能」と絶賛される。国内の主要オーケストラはもとより、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、バイエルン州立歌劇場管弦楽団、ロシア・ナショナル・フィルハーモニー交響楽団、ボストン・ポップス・オーケストラ、BBCフィルハーモニック、BBC交響楽団

などと共演。サン・モリッツ、コルマール、ヴェルビエなどの著名フェスティバル、ニューヨーク、ワシントン、サンクトペテルブルグ、モスクワ、フランクフルト、ミラノなどでリサイタルを行っている。2020年10月、RCA Red Sealレーベルより「JSバッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ」をリリースしている。これまで里屋智佳子、小栗まち絵、工藤千博、原田幸一郎、ドロシー・ディレイ、川崎雅夫、ザハール・ブロン各氏に師事。楽器は宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス1731年製作「Rubinoff」を使用している。大阪府知事賞、京都府知事賞、第13回出光音楽賞、文化庁長官表彰、ホテルオーケストラ音楽賞はじめ数々の賞を受賞。



オルガン：石丸由佳

世界的権威のあるシャルトル国際オルガンコンクールで優勝、併せてJ.アラン賞受賞。

パリのノートルダム大聖堂などヨーロッパ10か国以上の各地、日本全国で演奏している。

2021年にはオルガニストとして初めて年に2回、サントリーホール大ホールでリサイタルを開催するという快挙を成し遂げた。東京藝術大学、同大学院修了。デンマーク王立音楽院、シュトゥットガルト音楽大学にて国家演奏家資格取得。現在、新潟市芸術文化会館りゅうとびあ専属オルガニスト。武蔵野音楽大学非常勤講師。ココベリオルガンスタジオ主宰。

公式HP：<http://yukaishimaru.pecori.jp>

お客様へのお願い ●演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声や体の動きなどで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第5番《トルコ風》イ長調 K.219

ヴァイオリンの名手としても有名だったヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756-91)。そんな彼は、故郷ザルツブルクで宮仕えをしていた1770年代、ほぼ立て続けに5曲のヴァイオリン協奏曲を書いている。モーツァルトは当時、ザルツブルクの宮廷楽団でコンサートマスターを務めていたこともあり、おそらくは自らヴァイオリン独奏をしつつオーケストラを弾き振りし、彼らと共に演奏することを念頭に、これらの作品を手掛けたのだろう。

なお宮廷で催される当時の演奏会とはいえば、音楽をメインにした社交祝祭行事といった性格が強かった。しかもモーツァルトは1774年から1775年にかけてミュンヘンに滞在し、その地で流行していた華麗なフランス音楽の洗礼を受けていた。というわけで、たとえばこの協奏曲の第1楽章は、祝祭性に溢れた演奏会を彩るにふさわしい華やかさ、第2楽章は、宮廷で奏でられるにふさわしい優雅さを具えている。

ただし、こうした曲想が引っくり返されるのが、第3楽章だ。いや、この楽章の出だしは、やはり宮廷で催される演奏会に相応しい愉悅や優美さを具えている。だが楽章の中間部に突如現れるトルコの軍楽隊…あるいはハンガリーの民族音楽…を思わせる部分ゆえに、当協奏曲は唯一無二のユニークな存在となっている。またそれを受けて、この作品には「トルコ風」という呼び名が付けられることとなった。

実のところ、オーストリアとトルコは因縁浅からぬ関係にある。オーストリアの都ウィーンは、アジアに最も近いヨーロッパの大都市として古くから有名だったが、そのウィーンは16世紀と17世紀の2度にわたり、領土拡張を狙うオスマン・トルコに占領された。中でも人々を震撼させたのが、軍隊の攻撃とともに太鼓やシンバルによって打ち鳴らされる荒々しい軍楽だった。

ただし辛くもその攻撃を切り抜けてしばらくたつと、「喉元過ぎれば熱さ忘れる」ではないが、逆にトルコの文物がお洒落なものとして、ウィーンやザルツブルクはもとより、ヨーロッパのそこかしこに受容されてゆく。そうした状況の中、トルコの軍楽をアレンジした「トルコ風」の音楽は、凝り固まったヨーロッパ音楽の伝統を揺るがし、そこに新たな風を吹き込む存在として持て囃された。

洗練され文明化されていると考えられているヨーロッパ世界に、あえて「外」の要素を持ち込む。そこには、ザルツブルクの宮廷との確執を強める中で、より自由な外の世界への飛翔を求めているモーツァルトの心情が投影されているかのようだ。

第1楽章：アレグロ・アペルト

第2楽章：アダージョ

第3楽章：ロンド テンポ・ディ・メヌエット

楽器編成 独奏ヴァイオリン、オーボエ2、ホルン2、弦楽5部。



← YouTube チャンネル
【5分でわかる大人のためのオーケストラ入門】
今月のイチオシ

サン＝サーンス：交響曲第3番《オルガン付き》ハ短調 op.78

フランスのカミーユ・サン＝サーンス(1835-1921)は、幼い頃からモーツァルトの再来のような神童ぶりを発揮。しかも大人になってからもただの人とならず、ピアノやオルガンの演奏に優れた腕前を見せるとともに、作曲にも大いに才能を発揮した。作曲面では、絵画的でドラマティックな作風を得意とし、代表作には歌劇《サムソンとデリラ》や交響詩《死の舞踏》などがあげられる。

そんなサン＝サーンスは、若い頃(24歳まで)に交響曲を5曲も書き上げたが、そのうち3曲は出版されなかった。それから30年あまりの歳月を経て、51歳の年に完成させた6番目の交響曲が、彼の代名詞ともいえる『交響曲第3番』通称「オルガン付き」である。

『交響曲第3番』は、ヨーロッパ大陸の名だたる音楽家に新作委嘱をおこなっていたロンドン・フィルハーモニック協会からの依頼により、1886年に作曲された。ちなみにサン＝サーンスは、それに先立つ1871年にロンドンのアルバート・ホールでオルガンを演奏し、その腕前を英国の聴衆に披露したことから、この話が来たのだろう。

『交響曲第3番』の特徴としては、オルガンと4手ピアノを加えたフル編成の管弦楽の織り成す、色彩豊かで荘厳な響き、「交響曲」の文字通りの醍醐味を挙げることができる。また一般的な交響曲の4楽章分(アレグロ楽章～緩徐楽章～スケルツォ～フィナーレ)を2つの楽章にまとめあげ、冒頭で呈示される主題を中心に全曲を構成する「循環形式」が導入されている。

さらに特筆すべきは、第1楽章が始まった直後に弦楽器を中心にざわめくように演奏されるシューベルトの《未完成交響曲》第1楽章の主部を彷彿させる音型、グレゴリオ聖歌の『怒りの日』、第2楽章後半の冒頭に出現するモーツァルトの「ジュピター音型」…。こうした、いわば「生と死」を彷彿させる西洋音楽史上の素材が混然一体となり、「ドンラソファミレド」の音階の中に輝かしく解決する終結部は、元々教会にゆかりの楽器だったオルガンの響きとともに、演奏会場を聖なる空間へと変容させる音楽の魔法に溢れている。

第1楽章：第1部/アダージョ～アレグロ・モデラート 第2部/ポーコ・アダージョ

第2楽章：第1部/アレグロ・モデラート～プレスト 第2部/マエストーソ～アレグロ

楽器編成 フルート3(ピッコロ持替1)、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ2、大太鼓、シンバル、トライアングル、ピアノ2(連弾)、オルガン1、弦楽5部。



今日のコンサートの聴きどころは？

音楽評論家八木宏之さんの
楽しい解説をお楽しみください！

16時20分
より
大ホール内
にて♪



八木宏之(やぎ ひろゆき) ● 1990年東京生まれ。青山学院大学文学部史学科芸術史コース卒業。愛知県立芸術大学大学院音楽研究科博士前期課程(修士:音楽学)およびソルボンヌ大学音楽専門職修士課程(Master 2 Professionnel Médiation de la Musique)修了。

2021年春にWebメディア『FREUDE』を立ち上げ、その運営を行う株式会社メディアアシオンを設立。クラシック音楽を中心に、プログラムノートやライナーノーツを多数執筆するほか、コンサートのプレトークなども積極的に行なっている。



Column

歴史でひもとく! ~クラシックこぼれ話 by 小宮正安



コンサートホールでオルガンを!

現在では、コンサートホール、特にいわゆるクラシック音楽専用ホールでは、舞台正面にオルガンがどんと設置されているのが普通である。日本フィル横浜定期演奏会のメイン会場である横浜みなとみらいホールも、例外ではない。

だが、そもそも西洋音楽の歴史を辿ると、演奏会に特化したコンサートホールがようやく姿を現し始めるのは18世紀も終わりになってからのこと。それまでは、宮殿や劇場、さらにはレストランや集会場等で演奏会が開かれるのが当たり前だった。またそうした場所の中央に、オルガンが設置されるはずもない。

しかもオルガンと言えば、教会の楽器というイメージが強い。実はそこに至るまでは色々と紆余曲折があったのだが、16世紀になると「聖なる場」としての教会にふさわしい「聖なる楽器」として、広くオルガンの存在が認められるようになった。

なお伝統的な教会の建築では、オルガンは教会の入り口のすぐ上に設えられたバルコニーに設置されている。またオルガンの手前に、合唱やオーケストラが配置され、礼拝用の音楽が奏でられる。なぜかといえば、音楽が会衆の頭上から降り響くことで、神の声のように聞こえるから。

ただしそれらの会衆が、オルガン・バルコニーに陣取った音楽家の姿を見ることはない。彼らはそちらには背を向けて座っているためであり、あくまで視野に入ってくるのは祭壇、さらにはそこで礼拝を司る聖職者たちだからだ。つまりそうした意味で、礼拝における音楽家の立ち位置は、「メイン」の聖職者に対する「サブ」の存在だということ。

だが、厳しい上下関係に縛られた社会が市民革命等によって崩れてゆくと、音楽家を「メイン」の存在とし、彼らの奏でる音楽をこそ聖なるものとして崇めようという傾向が生まれてゆく。またそうした中で生まれたのが、オルガンを正面に配したコンサートホールだったのだ。

このような時代の最中に作られた作品の1つこそ、サン＝サーンスの「オルガン付き」に他ならない。自身、優れたオルガニストとして教会でも活躍していた彼は、だからこそコンサートホールに「メイン」の存在として登場する音楽家たちが、オルガンをも含めた豊かで聖なる響きを作り上げるべく、畢生の大作を書き上げたのだった。



オルガンとの共演(サントリーホール) ©山口敦

Next YOKOHAMA

第396回 横浜定期演奏会

2024年4月27日(土) 17:00 (16:10開場)
横浜みなとみらいホール

指揮・ピアノ: 横山幸雄

シヨパン: 《ドン・ジョヴァンニ》の「お手をどうぞ」の
主題による変奏曲

シヨパン: アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ

シヨパン: ピアノ協奏曲第2番 へ短調 op.21

S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P 完売 Ys (25歳以下) ¥1,500

※ Ys 席は S 席以外から選べます。

※ 障害者手帳をお持ちの方は、サービスセンターへお問い合わせください。



© ZIGEN

特別演奏会

2024年5月25日(土) 14:00 昭和女子大学 人見記念講堂

第404回 名曲コンサート

2024年5月26日(日) 14:00 サントリーホール

ピアノ: 小菅 優

ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第2番 チャイコフスキー: 交響曲第5番

[5/25] S ¥6,000 A ¥4,500 B ¥3,500 Ys (25歳以下) ¥1,500 Gs (65歳以上) ¥3,500

[5/26] S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P ¥4,000 Ys (25歳以下) ¥1,500
Gs (65歳以上) ¥5,000

※ Ys (ヤング・シート)、Gs (グランド・シート) は S 席以外からお選びいただけます。

第255回 芸劇シリーズ

2024年6月2日(日) 14:00 東京芸術劇場

作曲家 坂本龍一 ~その音楽とルーツを今改めて振り返る

箏: 遠藤千晶* 合唱: 東京音楽大学** 監修: 小沼純一

ドビュッシー: 《夜想曲》**

坂本龍一: 箏とオーケストラのための協奏曲*

坂本龍一: 映画『ラスト・エンペラー』より「メインテーマ」

武満徹: 組曲《波の盆》より「フィナーレ」

坂本龍一: 地中海のテーマ (1992年バルセロナ五輪開会式音楽)**

S ¥7,000 A ¥5,500 B ¥5,000 C ¥4,000 Gs(65歳以上) ¥4,000 Ys(25歳以下) ¥1,500

首席指揮者
カーチン・ウォン
演奏会

■ 定年のお知らせ

チェロの江原望が2024年2月4日に定年を迎えました。江原は1993年3月に入団し、チェロセクションの要として活躍してまいりました。定年後も引き続き囑託の奏者として演奏いたします。今後ともご期待ください。

■ 2024/25 シーズンよりチケット料金改定のお知らせ

昨今の経済情勢を受け、24/25シーズンより定期会員券、定期演奏会1回券等のチケット価格の改定を行います。何卒、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

■ テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組!『Welcome クラシック』BS朝日 毎週水曜日 22:54~23:00 (第3週、第4週は再放送)。ぜひご覧ください!

■ 2023年度ミュージック・ペンクラブ音楽賞を受賞しました。

2024年3月8日に、2023年度ミュージック・ペンクラブ音楽賞が発表され、日本フィルがオペラ・オーケストラ部門を受賞しました。4月に授賞式が行われます。

好評発売中!

にじクラ ~トークと笑顔と、音楽と【3公演セット券】

サントリーホール ナビゲーター:高橋克典 S ¥14,400 A ¥9,900

第4回
2024年5月2日 14:00
指揮:太田 弦
ピアノ:上原彰子
チャイコフスキー:
ピアノ協奏曲第3番
モーツァルト:
交響曲第41番「ジュピター」

第5回
2024年9月25日 14:00
指揮:広上淳一
ヴァイオリン:前橋汀子
モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲
第5番「トルコ風」
《大河ドラマ&映像作品セレクション》
「八重の桜」 「ニュー・シネマ・パラダイス」

第6回
2025年1月29日 14:00
指揮:園田隆一郎
ギター:村治佳織
ロドリゴ:
「アラmfエス協奏曲」
サン＝サーンス:
交響曲第3番「オルガン付き」

もうすぐ発売▶▶▶ 2024年4/24 発売! 第50回日本フィル夏休みコンサート2024 ◎詳細はP12をご覧ください。

◆定期会員券ご寄付のお願い◆ お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

【ご寄付の方法】
ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。
●公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。●会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願いいたします。
●ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送いたします。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願いいたします。

日本フィル・サービスセンター
〒166-0011
東京都杉並区梅里1-6-1
TEL: 03-5378-5911 (平日10時~17時)
FAX: 03-5378-6161 (24時間)
e-mail: order-ticket@japanphil.or.jp

横浜定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。 1月の寄付者 匿名2名
心より御礼申し上げます。

敬称略・五十音順

横浜定期会員の特典

横浜ベイホテル東急(横浜みなとみらいホール向かい)にて、メンバーズ優待を行っております。

飲食: 下記店舗で、飲食料金が10%OFFとなります。(4名様まで) ※除外日および対象外メニューあり

オールデイダイニング「カフェ トスカ」/ラウンジ「ソマーハウス」/日本料理「大志満」

中国料理「スーツァンレストラン陳」

※会計時に横浜定期会員券をご提示ください。※この割引は日本フィルのコンサート開催日以外にも有効です。
※指定以外の店舗、および宴会は対象外ですのでご了承ください。※他の特典・割引との併用はいたしかねます。

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 (1956年6月創立)

- 創立指揮者/渡邊暁雄
●桂冠名誉指揮者/小林研一郎
●名誉指揮者/ルカーチ・エルヴィン
●名誉指揮者/ジェームズ・ロッホラン
●客員首席指揮者/ネーメ・ヤルヴィ
●首席指揮者/カーチュン・ウォン
●桂冠指揮者兼芸術顧問/アレクサンドル・ラザレフ
●フレンド・オブ・JPO (芸術顧問) /広上淳一

公式X (元Twitter)
@Japanphil

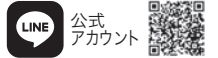


Table with 4 columns: 理事/副理事/専務/常務, 名誉顧問, 団友, and other staff members.

(2024年3月1日現在)